

犬吠埼灯台



参観に関するお問い合わせ
社団法人 燈光会 犬吠埼支所
〒288-0012 千葉県銚子市犬吠埼9576
0479-25-8239

施設の管理
銚子海上保安部 交通課
〒288-0001 千葉県銚子市川口町2丁目6431番地
0479-24-6685

はじめに

周囲を海に囲まれた我が国にとって、海運・水産業に従事している船舶が、安全で経済的な運航ができるようにすることは重要な業務です。その役目を担っているのが航路標識で、灯台のほか、無線や音などによる標識があり、現在、我が国の航路標識は約5,570基（平成18年4月現在、無線標識等を含む）あります。

我が国の近代洋式灯台は、幕末時代、開国とともに英、仏の指導のもとに始まりました。これを引き継いだ明治新政府以来、今日まで国の事業として実施され、現在は海上保安庁が維持・管理をしています。

犬吠埼灯台の歴史

犬吠埼灯台の建設は、イギリス人技師、リチャード・ヘンリー・ブラントンにより明治7年11月15日に完成しました。工費は、44,835円63銭でした。

この工事には、19万3千枚のレンガが使われています。当時、レンガは高価な輸入品でしたので、中沢孝政という技師が国産化を主張し、苦心の末、香取郡高岡村にレンガに適した良質の土を発見、土地の旧藩士に製造法を教えて製造したものです。この灯塔は百余年の歳月に耐え、レンガ造りの建築物としては青森県の尻屋埼灯台に次ぐ高塔としてその偉容を誇っています。

灯台のレンズは、フランス製8面閃光レンズでしたが、これは太平洋戦争で破壊されレンズの下部がなくなりました。平成14年3月にオープンした犬吠埼灯台資料展示館に展示されています。



現在のものは灯台局レンズ工場で製作した4面閃光レンズで内径1,840ミリメートル、高さ2,590ミリメートルもある大きなものです。光源には当初は石油灯を使用し、67,500燭光の光度(明るさ)でしたが、大正12年には電化され、現在は市販の400ワットの電球を使用し、実効光度が110万カンデラと、日本では最大の光度を誇る灯台の一つとなっています。

犬吠埼灯台には、航行船舶に対して犬吠埼付近の気象・海象を無線電話で放送する船舶気象通報業務や、カーナビゲーションで利用されているGPSの精度を飛躍的に向上させることができるディファレンシャルGPS局などを扱っている我が国最大級の灯台です。

犬吠埼灯台の概要

位置	北緯 35 度42 分 東経 140 度52 分
塗色・構造	白色塔形(レンガ造)
灯質	単閃白光 毎15 秒に1 閃光
光度	110 万カンデラ
光達距離	19.5 海里(約36km)
高さ	地上から灯火まで 約27m 平均水面上から灯火まで約52m

その他の業務

ディファレンシャルGPS局
付帯業務 船舶気象通報(1670.5kHz)
" テレホンサービス(0479-20-0177)
ホームページ
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/03kanku/choshi/>

我が国最初の霧信号(霧鐘)

犬吠埼灯台の構内に、我が国最初の霧信号として尻屋埼灯台(青森県)で使用された霧鐘が展示されていますが、現存する日本で唯一の霧鐘です。



犬吠埼灯台余話

その1 この灯台の長い螺旋階段は、段数が99段あります。

イギリス人技師が九十九里浜にちなんでこのように設計したともいわれています。

その2 犬吠埼灯台の落成間近に、この巨大なレンズを見た地元の人々は、沿海の魚が明かりで獲れなくなると大変心配したそうですが、その翌年まれにみるカツオの大漁となり、灯台のおかげと喜んだそうです。

その3 犬吠埼灯台は、終戦近い昭和20年8月10日の夜明けから始まった艦載機7機による攻撃を繰り返し受け、爆弾7発と機関砲の掃射を浴びました。このとき1発が灯室のガラスを貫通、爆発し、高木技術員は、その職に殉じられました。

その4 行政区画の地名には、多く「崎」の字が使われていますが、ほとんどの灯台では「埼」の字が使われています。「碕」の字を用いている灯台名もあります。犬吠埼は、地名、灯台名とも「埼」の字が使われている唯一のものであります。